

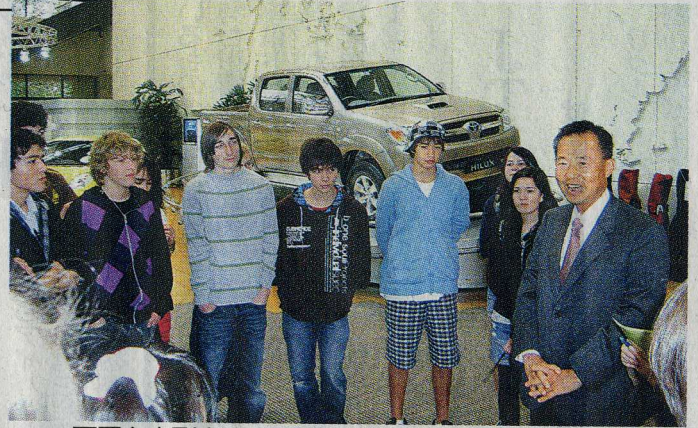
# 愛知の産業に親しみを

日本に住むドイツ人の生徒らが七日、修学旅行で愛知県豊田市のトヨタ自動車工場などを見学した。名古屋商工会議所が次世代を担う外国人に、地元産業を理解して歴史や

## 名商受け入れ

文化に親しんでもらい、将来の交流につなげようと初めて受け入れた。

東京横浜逸学園（横浜市）の九年生（中学三年生に相当）三十人が、六日から九日の日程で、名古屋港



栗岡名商副会頭（右端）の説明を聞く東京横浜逸学園の生徒たち＝愛知県豊田市のトヨタ会館で

## ドイツ人生徒が修学旅行

や明治村、犬山城など産業や観光施設を巡っている。日独の商工会議所の交流が縁で、名商の栗岡完爾副会頭（トヨタ自動車相談役）が同学園に持ちかけて実現した。滞在中の費用の一部を名商が負担し、会員企業が施設見学などで協力している。

この日訪れたトヨタ会館では、出迎えた栗岡副会頭が「よく学び、よく遊んでいってください」とあいさつ。生徒たちはコンセプトカーやロボットに見入り、展示車に乗り込むなどした。

日本滞在九年のマキシミアン・ロエルさん（左）は「リラックスするだけの旅行と違い、貴重な経験ができた」と満足げ。担任のウヴェ・クナウフ教諭（三）は「美しい桜も見られてよかった。来年も来られれば」と話していた。

名商ではこのほか、六月に米国の大学生の研修受け入れを予定している。